

健全な森林を次世代に引き継ぐために



平成25年度以降の長野県森林づくり県民税について



森林は、水や空気をはぐくみ、災害を防止する等のさまざまな機能を持つ「緑の社会資本」です。このため、平成20年度に森林税が導入され、県民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、手入れの遅れている里山での間伐を中心とした森林づくりを集中的に進めてきました。

これらの取り組みを今後も進め、さらに木材等の森林の恵みを積極的に活かす仕組みを構築するために、平成25年度以降も森林税を継続することが県議会9月定例会で決定されました。

次期森林づくり県民税を活用して実施する施策のうち、主なものを以下にご紹介します。

課税方式・税額等
(現行の森林税と同じ)

個人県民税および法人県民税の均等割りの超過(上乘せ)課税方式
《個人》年額：500円 《法人》年額：現行の均等割額の5%相当額

① 求められる機能に応じた里山等の森林づくり

◆みんなで支える里山整備事業

集落周辺の小規模・分散的で手入れの遅れた里山を中心に、間伐を面的に推進します。

【参考】H20～24年度実績見込み(佐久管内)
2,300ha/約4億6,900万円
(うち森林税約2億円)

◆地域で進める里山集約化事業

地域が主体となった里山整備計画の作成や、森林所有者の同意を集める活動を支援します。



◆森林づくり推進支援金

市町村が行うきめ細やかな森林づくりの取り組みを支援します。

※水源林公有林化支援事業を新たに追加
(水源林等の取得経費を支援)

② 間伐材の活用等による継続的な森林づくり

※間伐材の搬出・利用が可能な場合、
搬出・集積を新たに支援



◆信州の木活用モデル地域支援事業 新

地域が主体となり、里山の森林資源を様々な活用する先進的な取り組みを支援します。

【住民自主参加型】例：薪ステーションの設置
未利用材収集の促進

【都市部活用型】例：木製ベンチや案内板等の製作
直売所や公衆トイレの木質化

◆信州フォレストコンダクターの育成 新

里山を活用した地域づくりから、森林管理や木材の利用まで、総合的に指揮できる人材を育成します。

③ 里山と人との絆づくりを進める取り組みの支援

◆里山利用総合支援事業 新

山菜やきのこなどの里山の森林資源を活かし積極的な活動を行う地域を支援します。

◆みんなで支える森林づくり推進事業

森林税活用事業の成果の検証、森林税の広報等を通じ、県民への情報提供に努めます。

◆木育推進事業

県産材の活用を通じて地域住民や子どもたちが木や森林について学ぶ取り組みを支援します。

例：木工教室
学校等の内装木質化

